

事業所における自己評価総括表

事業所名	LITALICOジュニア東武練馬教室 児童発達支援
事業者向け自己評価表作成日	2026年3月4日（水）
自己評価総括の担当者	牧海月

	実施期間	有効回答数(回答者数)	有効回答数(対象者数)
保護者評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	42	50
従業員評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	8	10

各評価を受けて事業所内で分析した強みと弱み

事業所の強み(※)だと思われること
※より強化・充実を図ることが期待されること

- ・お出迎えや見送りなどの一人ひとりを大切にす温かい対応を徹底し、お子様が安心感を持って自分らしく活動できる環境維持に努めている
- ・お子様一人ひとりの特性や発達段階を深く理解し、個別のニーズに基づいた最適な支援内容を構築・実践している
- ・お子様への支援のみならず、保護者の不安や困りごとに寄り添う相談支援を重視し、心理的な「よりどころ」としての信頼関係構築を図っている

事業所の弱み(※)だと思われること
※事業所の課題や改善が必要だと思われること

- ・指導の様子のお伝え場面で、保護者の不安に寄り添った中長期的な見通しの提示や、スモールステップでのお話が不足している
- ・お子様のご様子に合わせた「楽しさ」や「意欲」を軸とした支援の意図が十分に伝わらず、保護者との認識に相違が生じるケースがある

過去の取り組みや課題の振り返り

工夫していることや意識的に行っている取組等

- ・全職員によるお出迎え・お見送りで歓迎の雰囲気を大切にするとともに、指導員自らが明るく前向きに関わることで、お子様が心から安心し、楽しみながら活動できる環境づくりに努めている
- ・お子様が集中して取り組んだ遊びや制作物を次回の指導に引き継げるよう配慮し、個々の「好き・楽しい」という肯定的な感情を継続させる環境設定を行っている
- ・直近の指導経過や課題を職員間で迅速に共有し、多角的な視点から具体的な手立てを検討することで、お子様一人ひとりの状況に即した一貫性のある支援を実践している

事業所として考えている課題の要因等

- ・アセスメント期間の目的（適切な目標設定のための観察期間）や、集団内での見守りの意図が保護者に十分伝わっておらず、不信感や不安を抱かせてしまう状況が生じている
- ・行動課題のあるお子様や成長の変化が緩やかなケースにおいて、課題面への注視により小さな変化や強みに着目した多角的な評価が不足し、保護者の納得感を得られる具体的な情報共有に至っていない

さらなる充実と改善への取り組み

さらに充実を図るための取組等

- ・お子様の『行きたい!』という気持ちを育むことを最優先の目標とし、その大切さを保護者の方とも共有することで、無理なく楽しく通い続けられる土台づくりを行う
- ・1回あたりの指導におけるターゲットへの反復練習を意識的に確保し、成功体験を積み重ねることで、確実なスキルの習得と向上に繋げる

改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等

- ・支援の意図やアセスメントの進捗を明確に言語化して伝達し、個別の状況に応じた柔軟な期間調整を行うことで、初期段階における不安の解消に努める
- ・支援記録の具体性を高め、職員間および保護者との情報共有をより緻密に行うことで、一貫性のある支援を提供し続ける
- ・1回あたりの指導における試行回数を意識的に確保することで、確実なスキルアップに繋げる支援体制を強化する